

の出廻は十二月よりの見込なるに對し、本邦三船船會社は濠洲歐洲間航路を開始する事を發表し、スエズを經るものと、パナマを經るものとを定め月一回の豫定を以て運輸に従事することとなり。右新航路に當る三會社は山下汽船、川崎汽船、國際汽船の三者にして從來種東濠洲間を約一ヶ月一回の割合にて海運に従事せるものなり。右は從來本航路に於ては郵船、商船及イースター・エンド・オーストラリア三會社の運賃協定以外に立ちてこれらの各會社に對し脅威たりしものとす。昨年八月第一着手として、ベルファスト丸(川崎)はシドニー、メルボルン、アリスペーンにて積荷をなせる後、パナマ經由米國及歐洲大陸に向へり、スエズ線はアリスペーン、メルボルン、アデレード、フリーマントルを經て歐洲行をなすものとす。

○地理科本試験問題(第四十一回)

一、奥羽地方の裏日本に就き

イ、其の地形圖を描き

ロ、其の地形の特色を説明せよ

二、日本、印度、シベリアに於ける全年の氣温の變化を

イ、圖表(グラフ式)を以て示し

ロ、其の特色を説明せよ

三、西印度諸島の成因につきて説明せよ

四、海外貿易につきてイギリス國が他の諸國に比し特色とせ

諸項を擧げ之を説明せよ

五、アメリカ合衆國の産業地圖を考案し之を別紙白圖に記入せ

六、フィリッピン諸島の住民につきて記せ
七、左の地につきて知る所を記せ

イ、包頭

ロ、コンドル島 Pulo Condor

ハ、マリツア川 Mariza

ニ、ラリック列島、ラタック列島 Ralik, Rakak

ホ、アフリカ洲にある獨立國と其の首府との名

右四時間

○山崎博士よりの來信 此頃詐偽漢ありて、山崎直方著

最近産業地理集成なるもの新著廣告を地方の學校などに配り廻り居り之は小生の全然關知せざる所にて地方數多の小學教員は勿論小生の迷惑も不勘、此の情報を香川縣より聞知致候次第にて關西にては罹災者多からんと存候、願くは右著作は山崎の壺も關り知らざるものである由を一寸御吹聴下さるれば自他の爲め其幸福と奉存候。(大正十三年十二月十二日)

新刊紹介

○人類學及人種學上より見たる北東亞細亞

鳥居龍藏著定價參圓八拾錢大正十三年七月發行

本書は鳥居博士が大正八十年に試みた北東亞細亞の調査旅

行日記である。而して這は他日公にされるべき北東亞細亞の論文の先驅をなすもの事である、従つて標題を見て、これを人類學の本ださ合點してはいけない、人類學上でなくて、人類學及人類學者の見た北東亞細亞を解釋すべきである、東部シベリア、イルクーツク、チタ、ハイラル、チチハル、ハルビン、オーノン河、黒龍江下航、ハバロフスク、ニコラエフスク等の地誌としてこれを見るさいかに多くの學ぶべき事實を本書によつて得ることだらう、從來我國の地理學者の机上に我國の文化も尤も密接な關係のある、北東アシア、又は東南アシア、南洋諸島の地誌が提供されたこと極めて珍々たりである、中にもこのシベリアから樺太滿洲にかけての地理的事情は餘程少い、近時南滿洲鐵道會社から翻譯さか調査報告類となつて出版されたものが多くあるが、十分にこれが行き渡らない狀況であるから、

予は鳥居博士の如き旅行家のこの種の著述を甚しく歓迎するのである、菊版ポイント四十六字詰十四行五百頁の少からぬ冊子であるから、たゞの旅行記のやうにすらくと讀過し得ない、むしろ肩の凝る方の本であるが、日本にこの種の旅行記を好讀する讀者子が増加せんことを祈つてやまぬ。妄評多謝(藤田)

○朝鮮部落調査報告第一冊 朝鮮總督府

本書は囑託小田通敏君の調査になつた朝鮮火田民及來住支那人の狀態の報告である、例によつて惜氣もなく寫眞圖版の多いもので其の數の多い寫眞を見るだけでも啓發さるゝ所の多い報告である、ここに運動する火田民の生活の不安定に關して説明

の丁寧なのを多とす、つぎに來住の支那人がいかに有力なる商家であり蔬菜農業者であるかさいふことを事實について細説してある、勸勉にしてしかも露欲な支那労働者の侵入に對しては單に朝鮮のみの問題でなく、邦人が滿蒙に發展せんとするに就ても其足もを足見なくてはならない現狀に對し、本書の如きは有力なる參考を提供するものさいふべきである。地圖の類も鮮明に出來てゐる、好著と云ふべきである。(藤田)

○地理教材研究第五輯 目黒書店大正十三年十一月發行

本輯には石井氏の奈良盆地の人口分布に就きて、辻村氏の四國北部の管見、西鶴氏の大野ヶ原カルスト、津川氏の大河津分水工事等をはじめ愛知縣の粘土工業、靜岡縣の茶柑橘等、趣味の多い報告に富んでゐる、各地方の地理學的報告の輯を重ねるに従つて愈増加することが本書の特色として他に誇るべき點であらう。會員名簿を見るに、總計で百四十八名、それゝゝ大家もあり中等教員の方々も多いことである、予は地方のこれら多數熱心家の更により多く輩出せんことを望むものである。(藤田)

質疑應答

問 山西省の自然地理を説明せよ。

答 山西省と云ふ所は十八省中の北部で、直隸省の西、大行山脈を界にし、陝西省の東で黄河が其境界となり、南も瀋陽から東する黄河によりて、大體河南省との境をつくつて、自然の境